

歴史の扉5

庄内藩と飛島

3/14 THU → 4/23 TUE



致道博物館
CHIDO MUSEUM

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10-18 ☎0235-22-1199

主催 公益財団法人 致道博物館

共催 山形県・(公財)山形県生涯学習文化財団・鶴岡市教育委員会

開館時間 9:00～17:00(入館受付は30分前まで)

入館料 一般:3月31日まで800円 4月1日から1,000円/

高大生:400円/小中生:300円(各種割引有)

REG. 3/14 THU → 4/23 TUE

歴史の扉5 庄内藩と飛島

山形県で唯一の有人島である飛島。島内からは縄文時代の遺跡や遺物も見つかっており、古くから人々が暮らしを営んでいたことが分かっています。

海岸線一周 10.2 kmの島には、豊かな自然が広がり、長い歴史のなかで語られてきた伝説や不思議スポットなどもあります。現在では、散歩や釣り、バードウォッチングを楽しむために島を訪れる旅行者も多くいます。

江戸時代には3つの村があり、漁業によって豊富な海産物を得ていました。島には田畑がほとんどないため、年貢として米ではなく鮑(スルメ)を納めていました。

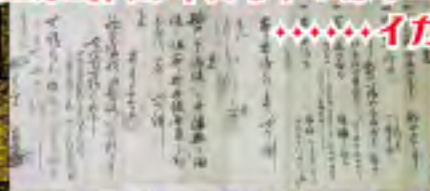
また、飛島は北前船の中継港、酒田湾に入港する船の補助港や避難港として一つの拠点となり、島には船問屋(船宿)なども軒を連ねていました。

庄内藩では毎年3月から9月の間、島役人を派遣して年貢や北前船の入港税を徴収し、島内で何か問題があればそれを解決しました。

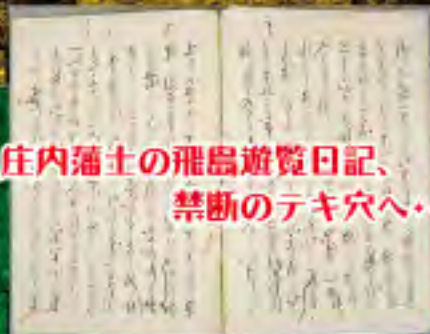
本展では、特に飛島における江戸時代の歴史に焦点を当て、北前船の寄港地としての機能、島内で起きた境目争い、生活文化についてなど、古文書や民俗資料から展覧します。

最上家時代の年貢もやっぱり

……イカ!!!



酒田市指定文化財 永田文書
江戸時代初期 本間美術館蔵



庄内藩士の飛島遊覧日記、
禁断のテキ穴へ……

飛島日記 文化元年(1804)
鶴岡市郷土資料館蔵



ここで決まり!
漁場境の争いを庄内藩が裁定

飛島勝浦村浦村
地境争論裁許絵図
天保7年(1836) 当館蔵

島役人が描いた飛島の習俗を知る絵画
《庄内藩役人が年貢のスルメを見分けている図》



飛島図画 佐藤梅宇画
天保11年(1840)
鶴岡市郷土資料館蔵

北前船と飛島の様子を描いた
珍しい構図



幕末に沈んだ
第2長崎丸の遺品



コーブランド製大皿・皿
1800年代 澤口正実氏蔵



イギリス船が
飛島に着船!?

御用控 江戸時代後期
杉原丈夫氏蔵



漁で着る仕事着

重要有形民俗文化財
ドンザ 近代 当館蔵

担当学芸員による
ギャラリー講座
日時:4月13日(土)
14:00~15:00
場所:展示会場内
申込:不要(直接会場へお越し下さい)



- JR鶴岡駅より
バス10分
「致道博物館前」
下車徒歩2分
- 山形自動車道
鶴岡ICより
車で5分
- 庄内空港より
車で20分



致道博物館
CHIDO MUSEUM

「致道」の名称は、庄内藩校致道館に由来します。
出典は「論語」で「君子学んで以て其の道を致す」です。

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10-18
電話:0235-22-1199 FAX:0235-22-3531
https://www.chido.jp/ E-mail:infochido@chido.jp



当館ホームページ



当館X